

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

日本語

(100 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 別紙の課題文 1 を読んで、次の問に答えなさい。

問 1 傍線 (1)「学習指導要領改訂の裏にある論点」とは、どのようなものだと著者は考えているか、100 字以内で説明しなさい。

問 2 傍線 (2)「一九五八年前後の動き」と「今日の動き」とは、どのように「一見すると」「酷似」していると言えるのか。150 字以内で説明しなさい。

問題 2 別紙の課題文 2 を読んで、次の問に答えなさい。

問 1 著者の考えるピジン語とクレオール語の共通点と相違点を 120 字以内で説明しなさい。

問 2 ピジン・クレオール語の限界と可能性に関する著者の考えに対して、あなたの見解を 250 字以内で述べなさい。

出典 小玉重夫『学力幻想』ちくま新書、1973年、三六—四二頁

課題文 2

(出典) 木村護郎クリストフほか「比較媒介言語論序説」, *Sophia Linguistica*, 60, 2013, pp. 85-88,
(なお、課題文は原文の一部を改編している)。